

1997年 大会記録

国際

◇ヤリギン国際大会=男子フリースタイル(1月28日~2月2日、ロシア・クラスノヤ

ルスク)

▼54kg級 田南部力(日体大)=三失、上林浩二(山梨学院大)=二失、▼58kg級 石島勇次(総合警備保障)=三失、山本徳郁(山梨学院大)=三失、▼63kg級 坪井勇(福島・四倉高教)=五失、浅野修二(山梨学院大)=三失、狩野敦(山梨学院大)=二失、▼69kg級 勝龍三郎(総合警備保障)=棄権、▼76kg級 山方政人(総合警備保障)=二失、中村征司(山梨学院大)=二失、▼85kg級 川合達夫(日体大研)=9位、▼97kg級 小菅裕司(日体大)=10位、▼130kg級 小幡弘之(警視庁)=6位

◇ショープ女子国際大会(1月25~26日、フランス・トゥルクァン)

《シニア・ジュニア》▼46kg級 川又尚美(茨城・藤代紫水高)=順位なし、富永めぐみ(東洋大倶楽部)=順位なし、石井亜希子(群馬・関東学園高)=優勝、▼51kg級 山本聖子(日体パンサーズ)=2位、▼56kg級 中林教子(東京・安部学院高)=3位、山本英代(岐阜・岐阜工高)=順位なし、▼62kg級 石倉匡子(東京・安部学院高)=順位なし、六軒奈津子(EIKOHクラブ)=順位なし、宮本知恵(茨城・土浦日大高)=4位、▼68kg級 越智雅子(愛媛・今治南高)=順位なし、須永綾佳(群馬・太田商高)=順位なし、斎藤紀江(茨城・土浦日大高)=優勝、▼75kg級 富岡多恵子(茨城・土浦日大高教)=優勝

《カデット》▼46kg級 野口美香(鹿児島・鹿屋チャンピオン)=優勝、世良桃子(福岡・青山スポーツ)=2位、▼49kg級 吉田沙保里(三重・一志ジュニア)=優勝、▼52kg級 井上夕起子(兵庫・育英クラブ)=優勝、横山映利子(三重・一志ジュニア)=5位、▼56kg級 小野田久美(静岡・清水クラブ)=優勝、▼65kg級 菅原美々(秋田・北志館道場)=2位

《マイナー》▼44kg級 平岡深雪(三重・一志ジュニア)=優勝

◇ベビー・エムレ国際大会=男子グレコローマン(1月31日~2月2日、トルコ・アン

カラ)

▼54kg級 佐々木昌常(自衛隊)=4位、▼58kg級 西島隆(警視庁)=優勝、▼63kg級 花原大介(警視庁)=10位、▼69kg級 永田克彦(警視庁)=三失、▼76kg級 片山

貴光（自衛隊）＝四失、▼85kg級 佐々木秀幸（香川・飯山中教）＝二失、▼97kg級 吉田幸司（福島・須賀川高教）＝二失、▼130kg級 浜上稔（福島・磐城農高教）＝二失

◇スウェーデン・カップ＝男子グレコローマン（2月8～9日、スウェーデン・ハブラ

ーリンケン）

▼54kg級 佐々木昌常（自衛隊）＝7位、▼58kg級 西島隆（警視庁）＝四失、▼63kg級 花原大介（警視庁）＝四失、▼69kg級 永田克彦（警視庁）＝5位、▼76kg級 片山貴光（自衛隊）＝5位、▼85kg級 佐々木秀幸（香川・飯山中教）＝三失、▼97kg級 吉田幸司（福島・須賀川高教）＝三失、▼130kg級 浜上稔（福島・磐城農高教）＝二失

◇クリッパン女子国際大会（2月22～23日、スウェーデン・クリッパン）

▼51kg級 待谷ももこ（日大）＝順位なし、鳥海智恵子（東京・代々木クラブ）＝順位なし、▼56kg級 鈴木亜里（日大）＝2位、▼68kg級 江中和世（リプレ中京女大）＝7位

◇コルボトン国際大会＝女子（3月1～2日、ノルウェー・コルボトン）

▼51kg級 待谷ももこ（日大）＝順位なし、鳥海智恵子（東京・代々木クラブ）＝優勝、▼56kg級 鈴木亜里（日大）＝順位なし、▼68kg級 江中和世（リプレ中京女大）＝5位

◇アジア選手権（4月12～18日、イラン・テヘラン）

《男子フリースタイル》▼54kg級 田南部力（日体大）＝6位、▼58kg級 石島勇次（総合警備保障）＝8位、▼63kg級 坪井勇（福島・田島高教）＝4位、▼69kg級 勝龍三郎（総合警備保障）＝四失、▼76kg級 山方政人（総合警備保障）＝8位、▼85kg級 川合達夫（日体大助）＝5位、▼97kg級 小菅裕司（日体大）＝6位、▼130kg級 小幡弘之（警視庁）＝2位

《男子グレコローマン》▼54kg級 佐々木昌常（自衛隊）＝6位、▼58kg級 西見健吉（自衛隊）＝棄権、▼63kg級 元木康年（自衛隊）＝2位、▼69kg級 永田克彦（警視庁）＝7位、▼76kg級 片山貴光（自衛隊）＝優勝、▼85kg級 佐々木秀幸（香川・飯山中教）＝5位、▼97kg級 吉田幸司（福島・須賀川高教）＝5位、▼130kg級 瀬川浩寿（警視庁）＝4位）

◇東アジア大会（5月13～16日、韓国・釜山）

《男子フリースタイル》▼54kg級 田南部力（日体大）＝2位、▼58kg級 石島勇次（総合警備保障）＝5位、▼63kg級 坪井勇（福島・四倉高教）＝4位、▼69kg級 勝龍三郎（総合警備保障）＝2位、▼76kg級 山方政人（総合警備保障）＝4位、▼85kg級 川合

達夫（日体大研）＝4位、▼97kg級 小菅裕司（日体大）＝5位、▼130kg級 小幡弘之（警視庁）＝2位

《男子グレコローマン》▼54kg級 佐々木昌常（自衛隊）＝4位、▼58kg級 西見健吉（自衛隊）＝3位、▼63kg級 元木康年（自衛隊）＝3位、▼69kg級 永田克彦（警視庁）＝2位、▼76kg級 片山貴光（自衛隊）＝優勝、▼85kg級 佐々木秀幸（香川・飯山中教）＝5位、▼97kg級 吉田幸司（福島・須賀川高教）＝優勝、▼130kg級 浜上稔（宮崎・宮崎農高教）＝5位

◇世界カデット選手権＝男子フリースタイル（6月18～21日、インド・ニューデリー）

▼42kg級 長谷川拓也（静岡・焼津リトル）＝二失、▼45kg級 清水義史（岐阜・岐南工高）＝三失、▼48kg級 金森建治（岐阜・加茂農林高）＝三失、▼52kg級 山口拓真（茨城・霞ヶ浦）＝二失、▼57kg級 野呂田健吾（埼玉・埼玉栄高）＝三失、▼63kg級 岩山元彦（岐阜・羽島連盟）＝二失、▼69kg級 高橋裕二郎（東京・東京学館新潟高）＝二失、▼76kg級 平沢昌大（茨城・霞ヶ浦高）＝二失、▼83kg級 小沼栄二（群馬・館林商工高）＝三失、▼95kg級 佐藤元（山形・米沢工高）＝8位

◇世界選手権＝女子（7月10～12日、フランス・クレルモンフェラン）

▼46kg級 清水美里（代々木ク）＝5位、▼51kg級 足立美穂（東洋大）＝3位、▼56kg級 清水真理子（埼玉・埼玉栄高教）＝2位、▼62kg級 宮崎未樹子（住友海上火災）＝7位、▼68kg級 浦野弥生（東京周栄ク）＝4位、▼75kg級 浜口京子（浜口ジム）＝優勝

◇世界カデット選手権＝男子グレコローマン（7月10～13日、スロバキア・マリボー
ル）

▼42kg級＝出場なし、▼45kg級 織田康博（京都・網野町教室）＝7位、▼48kg級 久古敏章（京都・網野町教室）＝四失、▼52kg級 大崎翼（千葉・野田北高）＝二失、▼57kg級 住友良安（徳島・貞光工高）＝三失、▼63kg級 中尾正人（徳島・三好高）＝二失、▼69kg級 川村健太（熊本・玉名工高）＝二失、▼76kg級 高橋優一（千葉・若葉ク）＝二失、▼83kg級 栗原勝（群馬・館林高）＝三失、▼95kg級 荻田貴士（奈良・添上高）＝二失

◇アジア選手権＝女子（7月22日、台湾・台北）

▼46kg級 吉村祥子（東京ビューティーセンター）＝優勝、梅田幸恵（リプレ中京女大）＝2位、▼51kg級 山本聖子（グリーンプロモーション）＝優勝、辻結花（リプレ中京女大）＝3位、▼56kg級 三田寺由香（スポーツ東急）＝優勝、沢田千恵（リプレ中京女大）

= 2位、▼62kg級 鈴木亜里(日大) = 優勝、宮本知恵(リプレ中京女大) = 3位、▼68kg級 宮本智恵子(西興産業) = 3位、江中和世(リプレ中京女大) = 5位、▼75kg級 住谷礼子(東洋大) = 優勝

◇世界ジュニア選手権=男子フリースタイル(8月7~10日、フィンランド・ヘルシン

キ)

▼49kg級 花輪健(東農大) = 二失、▼52kg級 鈴木猛雄(山梨学院大) = 三失、▼56kg級 島村豊一(日体大) = 7位、▼60kg級 金渕清文(国士大) = 四失、▼65kg級 栗尾直樹(日体大) = 3位、▼70kg級 大橋理秀(桃山学院大) = 三失、▼76kg級 武田雅也(東農大) = 二失、▼83kg級 高田浩也(日大) = 三失、▼90kg級 長島康弘(中大) = 二失、▼115kg級 福田清貴(日体大) = 三失

◇世界ジュニア選手権=男子グレコローマン(8月13~16日、フィンランド・ツルク)

▼49kg級 杉本雄(中大) = 三失、▼52kg級 村田知也(日体大) = 三失、▼56kg級 笹本睦(日体大) = 五失、▼60kg級 平井満生(日体大) = 5位、▼65kg級 田中文人(日体大) = 二失、▼70kg級 大井将憲(拓大) = 三失、▼76kg級 長岡卓也(拓大) = 四失、▼83kg級 伴戸宏行(拓大) = 二失、▼90kg級 秋山光喜(東農大) = 二失、▼115kg級 大同政政(自衛隊) = 二失

◇世界選手権=男子フリースタイル(8月28~31日、ロシア・クラスノヤルスク)

▼54kg級 笹山秀雄(自衛隊) = 15位、▼58kg級 阿倍三子郎(ペンシルベニア州立大学院) = 15位、▼63kg級 和田貴広(国士舘大助) = 8位、▼69kg級 勝龍三郎(総合警備保障) = 16位、▼76kg級 小柴健二(自衛隊) = 19位、▼85kg級 川合達夫(日体大助) = 14位、▼97kg級 小菅裕司(自衛隊) = 21位、▼130kg級 小幡弘之(警視庁) = 18位

◇世界選手権=男子グレコローマン(9月10~13日、ポーランド・ブツワフ)

▼54kg級 佐々木昌常(自衛隊) = 22位、▼58kg級 西島隆(警視庁) = 22位、▼63kg級 元木康年(自衛隊) = 19位、▼69kg級 永田克彦(警視庁) = 16位、▼76kg級 片山貴光(自衛隊) = 20位、▼85kg級 横山秀和(秋田・秋田経法大付高教) = 14位、▼97kg級 篠崎正二(自衛隊) = 20位、▼130kg級 浜上稔(宮崎・宮崎農高教) = 21位

◇メドベジ国際大会=男子フリースタイル(9月26~28日、ベラルーシ・ミンスク)

▼54kg級 田村茂一(自衛隊) = 9位、▼58kg級 関川博紀(日体大助) = 7位、▼63kg級 矢山裕明(熊本・玉名工高教) = 三失、▼69kg級 織山昭人(自衛隊) = 四失、▼76kg級 友寄隆康(自衛隊) = 8位、▼85kg級 横山武典(国士舘ク) = 二失、▼97kg級 花

田眞秀（和歌山県立武道館）＝二失、▼125kg級 瀬川浩寿（警視庁）＝二失

◇アレキサンドリア国際大会＝男子グレコローマン（10月11～12日、ギリシャ・アテ

ネ）

▼54kg級 森下浩（和歌山県教育庁）＝4位、▼58kg級 桜井正人（自衛隊）＝優勝、▼63kg級 花原大介（警視庁）＝3位、▼69kg級 田橋治（長崎・島原工高教）＝4位、▼76kg級 渡辺哲朗（グッドイヤーインターナショナル）＝3位、▼85kg級 渡部秀隆（福島県協会）＝6位、▼97kg級 馬淵賢司（岐阜・長良養護学教）＝三失、▼125kg級 瀬川浩寿（警視庁）＝3位

◇サンキスト・オープン＝女子（10月25～16日、米国・フェニックス）

▼46kg級 吉村祥子（TBC東京ビューティーセンター）＝優勝、石井亜希子（群馬・関東学園高）＝4位、▼51kg級 市川奈津子（群馬・関東学園高）＝5位、▼56kg級 三田寺由香（スポーツ東急）＝優勝、岸本裕子（関大）＝四失、須永しほ（群馬・関東学園高）＝二失、▼62kg級 星川君枝（ユニマット）＝2位、岩間怜那（岩手・宮古商高）＝4位、畑村恵（群馬・富岡東高）＝5位

◇アジア・オセアニア選手権（11月27～12月1日、タイ・バンコク）

《男子フリースタイル》▼50kg級＝出場なし、▼54kg級 竹田光一郎（中大）＝6位、▼58kg級 岡田英雅（早大）＝4位、▼63kg級 大木恵一（千葉・仁戸養護学教）＝3位、▼69kg級 新井正道（栃木・足利工大付高）＝5位、▼76kg級 今村直樹（今村重機）＝4位、▼85kg級 河崎義範（日大）＝3位、▼97kg級＝出場なし、▼130kg級＝出場なし

《男子グレコローマン》▼50kg級＝出場なし、▼54kg級 柳沢敏隆（国際武道大）＝4位、▼58kg級 高野剛（専大）＝4位、▼63kg級 坂上桂一（群馬・館林一中教）＝4位、▼69kg級 坂本栄裕（山梨・韮崎中教）、▼76kg級 田中義正（中大）＝3位、▼85kg級 沼尻将広（中大）＝6位、▼97kg級＝出場なし、▼130kg級 増田貴之（大東大）＝3位

国内

◇全日本女子選手権（3月20日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼46kg級 清水美里（代々木ク）、▼51kg級 足立美穂（東洋大）、▼56kg級 清水真理子（埼玉・埼玉栄高教）、▼62kg級 宮崎未樹子（住友海上火災）、▼68kg級 浦野弥生（東京周栄ク）、▼75kg級 浜口京子（浜口ジム）

◇全国高校選抜大会（3月27～29日、新潟・新潟市体育館）

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（3年連続9度目）、[2] 京都・立命館宇治、[3] 岐阜・岐阜工、鹿児島・鹿屋中央

《個人戦優勝者》▼46kg級 松永共広（静岡・沼津学園）、▼50kg級 足立竜一（岐阜・岐阜工）、▼54kg級 井上真一（岐阜・岐阜工）、▼58kg級 森岡寛至（大阪・近大付）、▼63kg級 飯塚匡（静岡・沼津学園）、▼68kg級 高塚慎吾（大阪・吹田）、▼74kg級 小幡邦彦（茨城・霞ヶ浦）、▼115kg級 藤田尚志（茨城・霞ヶ浦）

◇JOC杯全日本ジュニアオリンピック（5月3～5日・川崎とどろきアリーナ）

《男子ジュニア・フリースタイル優勝者》▼49kg級 松永共広（静岡・沼津学園高）、▼52kg級 鈴木猛雄（山梨学院大）、▼56kg級 島村豊一（日体大）、▼60kg級 金淵清文（国士大）、▼65kg級 栗尾直樹（日体大）、▼70kg級 大橋理秀（桃山学院大）、▼76kg級 武田雅也（東農大）、▼83kg級 高田浩也（日大）、▼90kg級 長島康弘（中大）、▼115kg級 福田清貴（日体大）

《男子ジュニア・グレコローマン優勝者》▼49kg級 杉本雄（中大）、▼52kg級 村田知也（日体大）、▼56kg級 笹本睦（日体大）、▼60kg級 平井満生（日体大）、▼65kg級 田中文人（日体大）、▼70kg級 大井将憲（拓大）、▼76kg級 長岡卓也（拓大）、▼83kg級 伴戸宏行（拓大）、▼90kg級 秋山光喜（東農大）、▼115kg級 新井真次（日体大）

《男子カデット・フリースタイル優勝者》▼42kg級 長谷川拓也（静岡・焼津リトル）、▼45kg級 清水義史（岐阜・岐南工高）、▼48kg級 金森建治（岐阜・加茂農林高）、▼52kg級 藤本健太（大阪・近大付高）、▼57kg級 野呂田健吾（埼玉・埼玉栄高）、▼63kg級 岩山元彦（岐阜・羽島連盟）、▼69kg級 小山裕之（大阪・近大付高）、▼76kg級 平沢昌大（茨城・霞ヶ浦高）、▼83kg級 小沼栄二（群馬・館林商工高）、▼95kg級 佐藤元（山形・米沢工高）

《男子カデット・グレコローマン優勝者》▼45kg級 織田康博（京都・網野町教室）、▼48kg級 久古敏章（京都・網野町教室）、▼52kg級 大崎翼（千葉・野田北高）、▼57kg級 住友良安（徳島・貞光工高）、▼63kg級 中尾正人（徳島・三好高）、▼69kg級 川村健太（熊本・玉名工高）、▼76kg級 高橋優一（千葉・若葉ク）、▼83kg級 栗原勝（群馬・館林高）、▼95kg級 荻田貴士（奈良・添上高）

《女子優勝者》▼40kg級 福場美希（京都・網野高）、▼43kg級 戸井田尚子（茨城・石岡一高）、▼46kg級 織田智絵（京都・網野高）、▼50kg級 篠村敦子（福岡大）、▼54kg

級 山本聖子(グリーンプロモーション)、▼58kg 級 中林教子(東京・安部学院高)、▼63kg 級 佐藤由美子(大阪・寝屋川連盟)、▼68kg 級 吉田育代(群馬・明和中)、▼75kg 級 須永綾佳(群馬・太田商高)

◇東日本学生リーグ戦(5月20～23日、東京・駒沢体育館)

《順位》[1] 日大(18年ぶり5度目)、[2] 国士大、[3] 日体大、[4] 山梨学院大、[5] 大東大、[6] 東洋大、[7] 青山学院大、[8] 東農大

◇西日本学生春季リーグ戦(5月17～18日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場)

《順位》[1] 近大(10季ぶり9度目)、[2] 徳山大、[3] 福岡大、[4] 同志社大、[5] 桃山学院大、[6] 南九州大

◇明治乳業杯全日本選抜選手権(6月14～15日、岩手・宮古市民総合体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg 級 笹山秀雄(自衛隊)、▼58kg 級 阿倍三子郎(ペンシルベニア州立大大学院)、▼63kg 級 和田貴広(国士舘大助)、▼69kg 級 勝龍三郎(総合警備保障)、▼76kg 級 小柴健二(自衛隊)、▼85kg 級 川合達夫(日体大助)、▼97kg 級 小菅裕司(自衛隊)、▼125kg 級 小幡弘之(警視庁)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg 級 佐々木昌常(自衛隊)、▼58kg 級 西島隆(警視庁)、▼63kg 級 元木康年(自衛隊)、▼69kg 級 永田克彦(警視庁)、▼76kg 級 片山貴光(自衛隊)、▼85kg 級 横山秀和(秋田・秋田経法大付高教)、▼97kg 級 篠崎正二(自衛隊)、▼125kg 級 浜上稔(宮崎・宮崎農高教)

◇東日本学生春季新人戦(6月18～20日、東京・駒沢体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg 級 高橋利典(山梨学院大)、▼58kg 級 笹本睦(日体大)、▼63kg 級 栗尾直樹(日体大)、▼69kg 級 工藤祐士(日体大)、▼76kg 級 武田雅也(東農大)、▼85kg 級 高田浩也(日大)、▼97kg 級 新井真次(日体大)、▼130kg 級 鈴木克彰(拓大)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg 級 村田知也(日体大)、▼58kg 級 平井進悟(拓大)、▼63kg 級 平井満生(日体大)、▼69kg 級 藤川和男(日体大)、▼76kg 級 溝上誠治(日体大)、▼85kg 級 岩崎秀司(中大)、▼97kg 級 新井真次(日体大)、▼130kg 級 鈴木克彰(拓大)

◇全国中学生選手権(6月21～22日、茨城・茨城県立スポーツセンター)

▼37kg 級 長江祐介(三重・一志)、▼42kg 級 大林哲也(岐阜・中山)、▼45kg 級 織

田康博（京都・網野）、▼48kg級 斎藤将士（秋田・天王南）、▼52kg級 鈴木崇之（京都・東宇治）、▼57kg級 橋井巧佑（大阪・箕面四）、▼63kg級 中筋祐太（大阪・南千里）、▼69kg級 松本真也（京都・網野）、▼76kg級 鈴木英成（三重・久保）、▼83kg級 篠崎拓（千葉・八千代松陰）、▼95kg級 藤永啓吾（山口・田布施）

◇西日本学生新人戦（7月、 ）

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 渡辺義正（立命館大）、▼58kg級 大塚康裕（福岡大）、▼63kg級 佐々木新八（天理大）、▼69kg級 扇田徳広（天理大）、▼76kg級 神村彰（徳山大）、▼85kg級 藤原歳也（桃山学院大）、▼97kg級 小林研二（徳山大）、▼130kg級 溝口武士（福岡大）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 裕英博（近大）、▼58kg級 山田久志（福岡大）、▼63kg級 庄司博（近大）、▼69kg級 徳丸久紀（徳山大）、▼76kg級 井上誠一（東亜大）、▼85kg級 藪内大士（徳山大）、▼97kg級 角川康成（同志社大）、▼130kg級 溝口武士（徳山大）

◇全日本社会人選手権（7月5～6日、東京・駒沢体育館）

《団体戦優勝チーム》▼実業団 総合警備保障、▼クラブ パライストラ日体大

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 田村茂一（自衛隊）、▼58kg級 関川博紀（パライストラ日体大）、▼63kg級 矢山裕明（熊本ク）、▼69kg級 織山昭人（自衛隊）、▼76kg級 友寄隆康（自衛隊）、▼85kg級 花田眞秀（和歌山ク）、▼97kg級 横山武典（国士舘ク）、▼125kg級 瀬川浩寿（警視庁）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 嘉戸洋（国士舘ク）、▼58kg級 桜井正人（自衛隊）、▼63kg級 花原大介（警視庁）、▼69kg級 宮本健二（天津フィジカルクラブ）、▼76kg級 渡辺哲朗（グッドイヤーインターナショナル）、▼85kg級 渡部秀隆（田島町チビッコク）、▼97kg級 馬渕賢司（岐阜・長良養護学教）、▼125kg級 瀬川浩寿（警視庁）

《女子優勝者》▼46kg級 吉村祥子（TBC）、▼51kg級 鳥海智恵子（なとり）、▼56kg級 星川君枝（代々木ク）、▼62kg級 向井裕子（EIKOHク）、▼68kg級＝出場なし、▼75kg級 高橋洋子（全日本女子プロレス）

◇インターハイ（8月2～5日、京都・網野町体育センター）

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（8年連続11度目）、[2] 京都・立命館宇治、[3]

岐阜・岐阜工、鹿児島・鹿屋中央

《個人戦優勝者》▼46kg級 松永共広（静岡・沼津学園）、▼50kg級 清野大輔（京都・立命館宇治）、▼54kg級 水口貴之（京都・立命館宇治）、▼58kg級 森岡寛至（大阪・近大付）、▼63kg級 飯塚匡（静岡・沼津学園）、▼68kg級 菅太一（東京・京北）、▼74kg級 小幡邦彦（茨城・霞ヶ浦）、▼115kg級 藤田尚志（茨城・霞ヶ浦）

◇**福田杯全日本女子学生選手権（8月10日、愛知・中京女大）**

《優勝者》▼46kg級 梅田幸恵（中京女大）、▼51kg級 足立美穂（東洋大）、▼56kg級 澤田千恵（中京女大）、▼62kg級 植田裕子（天理大）、▼68kg級 宮本知恵（中京女大）、▼75kg級 住谷礼子（東洋大）

◇**全国高校女子選手権（8月10日、愛知・中京女大）**

《優勝者》▼43kg級 福葉美希（京都・網野）、▼46kg級 織田智絵（京都・網野）、▼50kg級 幹佳奈子（福岡・三井）、▼54kg級 山本聖子（グリーンプロモーション）、▼58kg級 中林教子（東京・安部学院）、▼63kg級 岩間怜那（岩手・宮古商）、▼68kg級 須永綾佳（群馬・太田商）、▼75kg級＝出場なし

◇**全国中学女子選手権（8月10日・中京女大）**

《優勝者》▼31kg級 谷沢佳子（岐阜・飛騨高山クラブ）、▼34kg級 浜田陽子（千葉・関宿クラブ）、▼38kg級 田名部めぐみ（茨城・愛宕中）、▼40kg級 松岡晴由（静岡・沼津クラブ）、▼43kg級 平岡深雪（三重・四日市ジュニア）、▼46kg級 野口美香（鹿児島・鹿屋チャンピオン）、▼49kg級 世良桃子（福岡・青山スポーツ）、▼52kg級 吉田沙保里（三重・一志ジュニア）、▼56kg級 横山映利子（三重・一志ジュニア）、▼60kg級 久田亜季子（神奈川・横須賀ジュニア）、▼65kg級 本田麻美（茨城・愛宕中）、▼70kg級 山本真由美（愛知・常滑チビッコ）

◇**全国高校生グレコローマン選手権（8月17～18日、新潟・新潟市体育館）**

《優勝者》▼46kg級 松永共広（静岡・沼津学園）、▼50kg級 鴻巣伸彦（茨城・霞ヶ浦）、▼54kg級 里浩之（東京・京北）、▼58kg級 岡本陽介（三重・鳥羽）、▼63kg級 飯塚匡（静岡・沼津学園）、▼68kg級 菅太一（東京・京北）、▼74kg級 小幡邦彦（茨城・霞ヶ浦）、▼81kg級 芳林秀司（奈良・添上）、▼87kg級 藤田尚志（茨城・霞ヶ浦）、▼115kg級 小沼寛幸（群馬・館林）

◇**全日本学生選手権（8月28～31日、群馬・群馬アリーナ）**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 田南部力（日体大）、▼58kg級 山本英典（日

体大)、▼63kg級 佐藤将章(国士館大)、▼69kg級 本名栄仁(日体大)、▼76kg級 中村征司(山梨学院大)、▼85kg級 今村雄介(日体大)、▼97kg級 矢野倍達(専大)、▼130kg級 吉田清太郎(国士館大)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 小林武史(日体大)、▼58kg級 弓矢完二(日体大)、▼63kg級 石田亮一(日体大)、▼69kg級 大井将憲(拓大)、▼76kg級 伊藤光伸(山梨学院大)、▼85kg級 松本慎吾(日体大)、▼97kg級 矢野倍達(専大)、▼130kg級 光岡貴洋(日体大)

◇全日本学生王座決定戦(9月22~23日、東京・駒沢体育館) = 団体戦の FILA トーナ

メント方式

《順位》[1] 日大(26年ぶり8度目)、[2] 国士館大、[3] 日体大

◇西日本学生選手権(9月19~21日、大阪・堺市金岡公園体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 渡辺義正(立命館大)、▼58kg級 村田亮(南九州大)、▼63kg級 葭田隆夫(福岡大)、▼69kg級 奥村英彰(福岡大)、▼76kg級 大橋理秀(桃山学院大)、▼85kg級 谷口周平(徳山大)、▼97kg級 大林正一(近大)、▼130kg級 岩崎智郁(徳山大)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 宮本幸二(福岡大)、▼58kg級 村田亮(南九州大)、▼63kg級 葭田隆夫(福岡大)、▼69kg級 森岡誠(福岡大)、▼76kg級 鈴木将嗣(南九州大)、▼85kg級 谷口周平(徳山大)、▼97kg級 大林正一(近大)、▼130kg級 岩崎智郁(徳山大)

◇全日本大学グレコローマン選手権(10月13~14日、東京・駒沢体育館)

《優勝者》▼54kg級 豊田雅俊(拓大)、▼58kg級 弓矢完二(日体大)、▼63kg級 石田亮一(日体大)、▼69kg級 倉本忠(日体大)、▼76kg級 伊藤光伸(山梨学院大)、▼85kg級 田守太郎(山梨学院大)、▼97kg級 矢野倍達(専大)、▼130kg級 吉田清太郎(国士館大)

《大学対抗得点》[1] 日体大(9年連続9度目)、[2] 拓大、[3] 山梨学院大

◇国民体育大会(10月26~29日、大阪・吹田市北千里体育館、茨木市立市民体育館)

《成年フリースタイル優勝者》▼48kg級 佐伯豊(茨城・クリナップ)、▼52kg級 田村茂一(埼玉・自衛隊)、▼57kg級 石嶋勇次(山梨・総合警備保障)、▼62kg級 坪井勇(福島・田島高教)、▼68kg級 吉本收(神奈川・小又設計)、▼74kg級 勝龍三郎(山

梨・総合警備保障)、▼82kg級 横山秀和(秋田・秋田経法大付高教)、▼90kg級 川合達夫(群馬・日体大助)、▼100kg級 早坂雅和(山形・日大)、▼130kg級 吉田清太郎(秋田・国士舘大)

《成年グレコローマン優勝者》▼48kg級 中村吉元(三重・県協会)、▼52kg級 森下浩(和歌山・県教育庁)、▼57kg級 西島隆(東京・警視庁)、▼62kg級 花原大介(東京・警視庁)、▼68kg級 永田克彦(東京・警視庁)、▼74kg級 三宅靖志(神奈川・東海商船)、▼82kg級 杉浦貴(埼玉・自衛隊)、▼90kg級 木下英規(埼玉・自衛隊)、▼100kg級 野々村孝(香川・多度津工高教)、▼130kg級 浜上稔(宮崎・宮崎農高教)

《少年フリースタイル優勝者》▼46kg級 松永共広(静岡・沼津学園)、▼50kg級 足立竜一(岐阜・岐阜工)、▼54kg級 田岡秀規(北海道・岩見沢農)、▼58kg級 森岡寛至(大阪・近大付)、▼63kg級 小幡清美(茨城・霞ヶ浦)、▼68kg級 小路伸亮(熊本・玉名工)、▼74kg級 小幡邦彦(茨城・霞ヶ浦)、▼81kg級 藤田尚志(茨城・霞ヶ浦)、▼88kg級 渡辺学(大阪・高石)、▼115kg級 吉田栄利(鹿児島・鹿屋中央)

《少年グレコローマン優勝者》▼46kg級 鋤谷真一(大阪・近大付)、▼50kg級 森岡則晴(奈良・添上)、▼54kg級 柏木正人(静岡・沼津学園)、▼58kg級 岡本陽介(三重・鳥羽)、▼63kg級 飯塚匡(静岡・沼津学園)、▼68kg級 池田秀治(茨城・霞ヶ浦)、▼74kg級 菅太一(東京・京北)、▼81kg級 太田充洋(三重・員弁)、▼88kg級 丸山真太郎(長野・上田西)、▼115kg級 鈴木一人(茨城・霞ヶ浦)

◇全日本大学選手権(11月7～8日、神奈川・逗子アリーナ)

《優勝者》▼54kg級 長尾勇氣(日体大)、▼58kg級 橋本秀明(青山学院大)、▼63kg級 宮田和幸(日大)、▼69kg級 伊東克佳(日大)、▼76kg級 川鍋辰徳(日大)、▼85kg級 今村雄介(日体大)、▼97kg級 松本慎吾(日体大)、▼130kg級 吉田清太郎(国士舘大)

《大学対抗得点》[1] 日大(2年連続3度目)、[2] 日体大、[3] 国士舘大

◇全国社会人オープン選手権(11月1～2日、埼玉・志木市民体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 田岡師範(自衛隊)、▼58kg級 森茂樹(自衛隊)、▼63kg級 横瀬二郎(クリナップ)、▼69kg級 外屋敷剛(川内自衛隊)、▼76kg級 柴田寛(琴丘町役場)、▼85kg級 高橋善孝(宮越工芸)、▼97kg級 木内樹(宮越工芸)、▼130kg級 福島英治(レイキ)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 井口撰（自衛隊）、▼58kg級 内浩二（湘南ボンバーズ）、▼63kg級 横瀬二郎（クリナップ）、▼69kg級 湯田善彦（自衛隊）、▼76kg級 今村浩之（クリナップ）、▼85kg級 星場幸生（志賀町クラブ）、▼97kg級 岩淵利則（警視庁）、▼130kg級 福島英治（レイキ）

◇東日本学生秋季新人戦（11月21～22日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 足立浩二（山梨学院大）、▼58kg級 山本徳郁（山梨学院大）、▼63kg級 笥田幸宏（国士舘大）、▼69kg級 中野準也（日体大）、▼76kg級 坂井敏行（中大）、▼85kg級 松本慎吾（日体大）、▼97kg級 高田浩也（日大）、▼130kg級 新井真次（日体大）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 仮屋崇（日大）、▼58kg級 笹本睦（日体大）、▼63kg級 栗尾直樹（日体大）、▼69kg級 平井満生（日体大）、▼76kg級 加納篤（日体大）、▼85kg級 税田拓也（拓大）、▼97kg級 長島康弘（中大）、▼130kg級 新井真次（日体大）

◇西日本学生秋季リーグ戦（11月22～23日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場）

《順位》[1] 徳山大（2季ぶり12度目）、[2] 福岡大、[3] 桃山学院大、[4] 近大、[5] 同志社大、[6] 南九州大

◇全日本女子オープン選手権（11月22日、福島・郡山市西部第二体育館）

《優勝者》▼46kg級 幹佳奈子（福岡・三井高）、▼51kg級 足立美穂（東洋大）、▼56kg級 清水真理子（埼玉・埼玉栄高教）、▼62kg級 宮崎未樹子（住友海上火災保険）、▼68kg級 住谷礼子（東洋大）、▼75kg級 浜口京子（浜口ジム）

◇全日本選手権（12月21～23日、東京・代々木競技場第2体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 笹山秀雄（自衛隊）、▼58kg級 石島勇次（総合警備保障）、▼63kg級 和田貴広（国士舘大助）、▼69kg級 勝龍三郎（総合警備保障）、▼76kg級 小柴健二（自衛隊）、▼85kg級 川合達夫（日体大助）、▼97kg級 小菅裕司（日体大）、▼130kg級 小幡弘之（警視庁）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 嘉戸洋（国士大助）、▼58kg級 西見健吉（自衛隊）、▼63kg級 花原大介（警視庁）、▼69kg級 永田克彦（警視庁）、▼76kg級 片山貴光（自衛隊）、▼85kg級 横山秀和（秋田・秋田経法大付高教）、▼97kg級 篠崎正二（自衛隊）、▼130kg級 浜上稔（宮崎・宮崎農高教）